

環境経営レポート **2019**
Environmental Report

対象期間：2019年4月～2020年3月

**REC
VALUE**

現場を知るプロの、先読みレンタル。

エヌ・ティ・ティ・レンタル・エンジニアリング株式会社

発行日：2021年8月23日



環境経営方針	2
会社概要	3
会社組織図 / 取り組み対象範囲	4
環境経営運営図/役割表	5
環境経営計画と目標	6
環境経営実績	7
単年度目標と実績/各事業所の取組状況	8
グラフで見る環境経営実績	9
始めるECO活動&継続するECO活動	10~15
環境関連法規への違反、訴訟の有無	16
環境法令遵守評価結果表	16~17
代表者による全体の評価と見直しの結果	18

環境経営方針

◆基本理念

NTTレンタル・エンジニアリング株式会社は、ビジネスパートナーとしてお客様のニーズに即応し、良質・低廉なサービスを提供していくにあたり、全ての過程において、地球環境保全に積極的に取り組むとともに、環境にやさしい社会の実現に貢献していくものとする。

◆環境経営方針

事業運営において、環境負荷の低減のために生産性向上と環境整備活動(業務の効率化及び業務改善)等を通じて、必要な対策、改善および予防を継続的に実施する。

1. コンプライアンスの遵守と社会的責任遂行
2. 環境に配慮した事業推進
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 廃棄物排出量の削減
 - ③ 総排水量の削減
 - ④ グリーン購入の促進
 - ⑤ レンタル事業の推進
3. 環境経営方針は公開し、社員一人一人に周知します。
4. 社会活動を通じての貢献

2019年3月20日

エヌ・ティ・ティ・レンタル・エンジニアリング株式会社

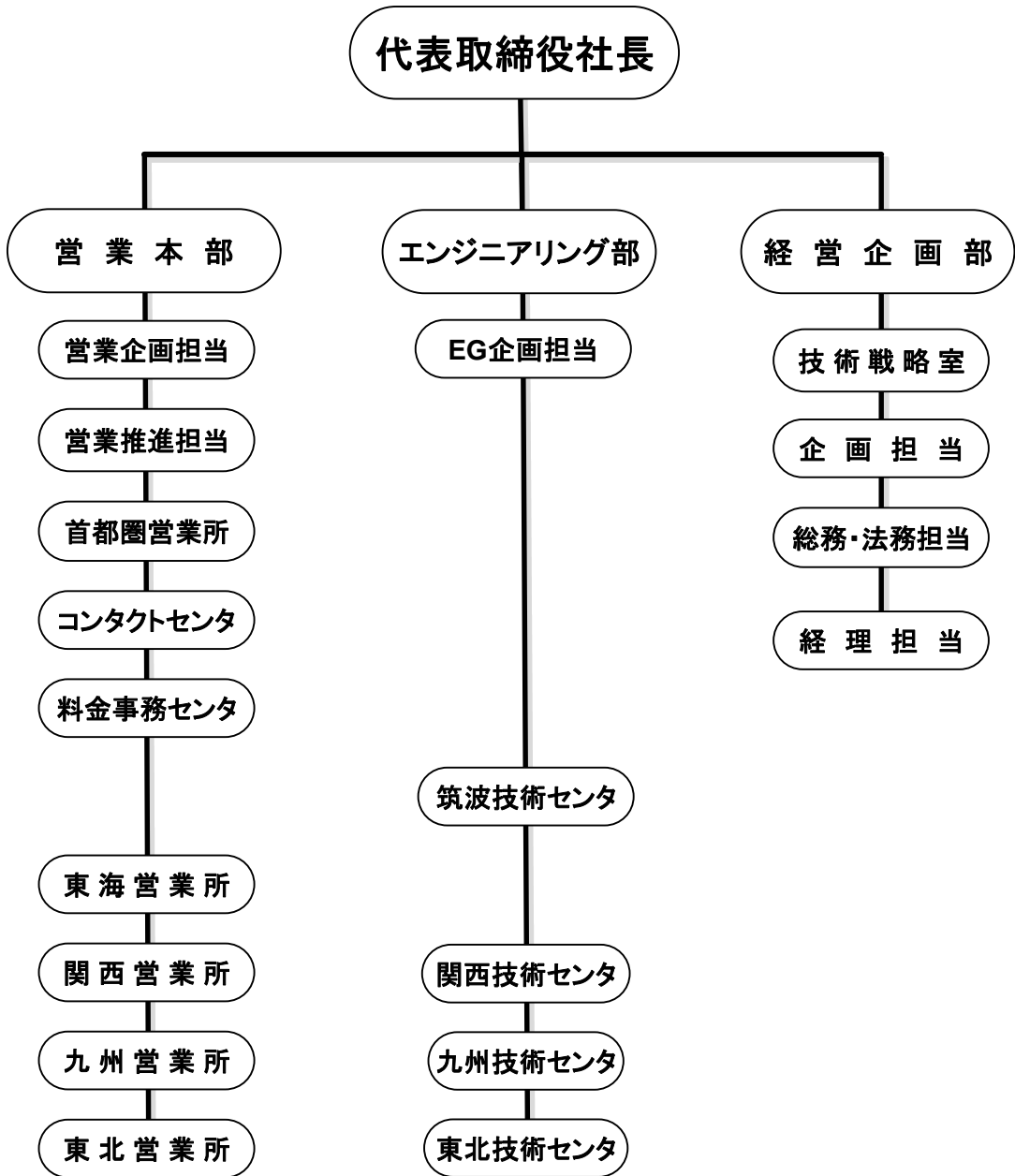
代表取締役社長

上間 功也

社名	エヌ・ティ・ティ・レンタル・エンジニアリング株式会社／略称：NTTREC (英文名) NTT RENTAL ENGINEERING CO., LTD.		
本社設立	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目9番7号RECビル 昭和60年12月24日		
代表者	代表取締役社長 上間 功也		
資本金	3億8,000万円		
社員数	132名(2019年4月1日現在、契約社員を含む)		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気通信設備工事用及び保守用機器・工具、情報通信機器及び情報処理機器のレンタル、リース、販売、割賦販売および保守並びに技術指導 2. 事務用機器、輸送用機器等のレンタル、リース、販売、割賦販売 3. 1の電気通信設備用機器の運用に関する調査及び開発 4. 電気通信工事の請負 5. 不動産の賃貸及び管理 6. 前各号に附帯、又は関連する一切の業務 		
認証	2012年3月23日 認証・登録	エコアクション21	2009年版
	2020年3月23日 更新・登録	エコアクション21	2017年版

事業所一覧

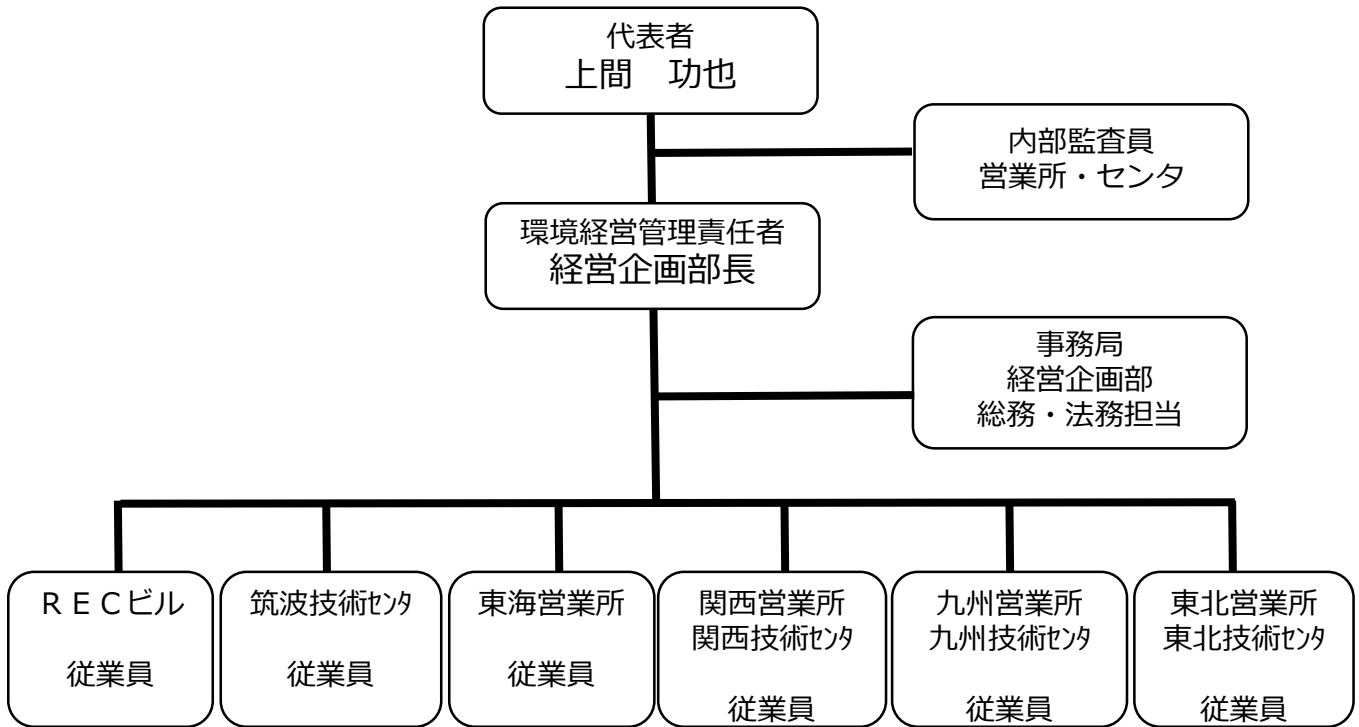
名称	所在地	電話番号
本社	〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-9-7 RECビル	03-3862-1109
エンジニアリング部 筑波技術センタ	〒300-0048 茨城県土浦市千束8-3	029-825-0003
東海営業所	〒456-0016 愛知県名古屋市熱田区五本松町7-30 熱田メディアウイング	052-682-0900
関西営業所 関西技術センタ	〒570-0084 大阪府守口市緑町3-2	06-4250-0900
九州営業所 九州技術センタ	〒816-0905 福岡県大野城市川久保1-20-1	092-504-0919
東北営業所 東北技術センタ	〒981-1224 宮城県名取市増田字北谷274	022-383-0909



* 2019年7月に組織見直しを行いました。

取り組み対象範囲

エコアクション2.1の取り組み対象範囲は、全組織・全従業員です。



役割表

役割	責任及び権限
社長 (代表者)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針の制定・誓約する。 2. 環境経営管理責任者を任命する。 3. 環境経営資源を確保する。 4. 全体の取組状況の見直しに必要な情報の収集をする。 5. 取組状況の評価と見直し並びに指示をする。
内部監査員	<ol style="list-style-type: none"> 1. E A 2 1 のシステムの適合性、運用状況を監査する。 2. E A 2 1 の監査結果を代表者に報告する。
環境経営管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社長に代わって E A 2 1 の構築・運用及び統括を行う。 2. 環境経営活動計画等、環境経営関連文書・記録を承認する。 3. E A 2 1 の実施状況を代表者に報告する。
事務局 (推進事務局) (推進委員)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営管理責任者の事務的業務を担う。 2. 環境経営方針、環境経営目標等を従業員に周知する。 3. 環境経営目標、環境経営活動計画の立案を行う。 4. 教育・訓練の実施及び外部からの環境経営上の苦情等の受付を行う。 5. 適用法規の調査と順法性チェックを行う。 6. 活動全般の補佐を行う。
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施及び活動状況を確認する。 2. 関連する手順の作成及び運用管理を行う。 3. 緊急事態の対応手順書の作成及び対応策の試行、訓練、記録を行う。 4. 問題点の抽出、是正・予防処置を行う。 5. 関連作業に関する環境上の教育・訓練を行う。
全従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部門の環境経営目標及び環境経営活動計画に参画・実施する。 2. 環境経営改善活動への参画し、取り組みを推進する。



環境経営計画と目標

電力使用量の削減	2019年度目標	2020年度目標	2021年度目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・クールビズ（室温28℃）ウォームビズ（室温20℃）による冷暖房使用抑制 ・「3UP」「4DOWN」運動の推進（フロア移動は階段を利用推進） ・年休・ライフプラン休暇等の取得促進・適正な勤務時間管理の徹底 ・未使用時の共用スペースの照明の電源OFF ・離席時のパソコンモニター消灯 ・空調機にハイブリットファン取付 ・屋上壁面緑化の推進 ・日々使用量確認による省エネ意識の徹底 等 	前年度以下 (2018年度実績) 529,141kWh	前年度以下	前年度以下	
自動車(ガソリン使用削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ徹底(急加速、急停車の防止) ・燃費のよい車(低公害車)の購入(更新時) ・冷房の控えめ使用(7月~9月) ・同乗出張の励行、等 	前年度以下 (2018年度比) 12,674kg-co2	前年度以下	前年度以下
廃棄物の削減(リサイクル推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物の削減 (ゴミの分別、マイカップ利用促進、コピー用紙の両面印刷・裏面活用) ・産業廃棄物の削減 (リユースの実施) 	前年度以下 (2018年度比) 一般22,759kg 産業31,130kg	前年度以下	前年度以下
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な節水促進 ・節水手順書等のポスター掲示 	前年度以下 (2018年度実績) 2,451m ³	前年度以下	前年度以下
グリーン商品の購入(紙資源の削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙両面印刷・裏面活用 ・複数ページ印刷時の縮小印刷の実施 ・ペーパーレス会議の促進 	前年度以下 (2018年度比) 5,296kg	前年度以下	前年度以下
レンタル事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタル商品の充実 (レンタル商品の新規商品化等) 	新商品を年間 30品以上	前年度以上	前年度以上
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「エコ検定」試験の全組織1名以上合格による環境人材の育成。 <p>◆2019年度以降の目標については組織見直しや事業所移転に伴うフロア面積拡大や営業力の強化、新規採用社員の再開等の影響があり、未達成項目が増えたため、2021年度までは前年度以下とし、その後3か年の平均実績を勘案し2022年度の目標を設定することとします。</p>			

環境経営目標	2015年度 実績 (前年比)	2016年度 実績 (前年比)	2017年度 実績 (前年比)	2018年度 実績 (前年比)	2019年度			
					実績 (前年比)	達成状況 (対目標値)	目標値 (基準年) 2018	
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) ※1	195,994 (▲3.7%)	202,912 (3.5%)	232,251 (14.4%)	253,585 (9.2%)	232,791 (▲8.2%)	○	251,780 (本社Iネット 換算) 以下	
電力CO ₂ (kg-CO ₂)	188,309 (▲2.8%)	193,264 (2.6%)	219,749 (13.7%)	240,911 (9.6%)	221,616 (▲8.0%)	-	239,106 (本社Iネット 換算) 以下	
燃料CO ₂ (kg-CO ₂)	7,685 (▲25.1%)	9,648 (26.5%)	12,502 (29.5%)	12,674 (1.4%)	11,175 (▲11.8%)	-	前年度以下	
電気消費量 (kWh)	450,499 (▲2.8%)	462,354 (2.6%)	527,716 (14.1%)	529,141 (0.3%)	490,519 (▲7.3%)	○	前年度以下	
自動車燃料使用量 (ℓ)	3,310 (▲21.4%)	4,149 (25.3%)	5,385 (29.8%)	5,463 (1.5%)	4,791 (▲12.3%)	○	前年度以下	
廃棄物※2 (kg)	一般廃棄物	-	-	-	22,759	21,434 (▲5.8%)	○	前年度以下
	産業廃棄物	-	-	-	31,130	22,490 (▲27.7%)	○	前年度以下
水使用量 (m ³)	2,304 (▲10.9%)	2,411 (4.6%)	2,691 (11.6%)	2,451 (▲8.9%)	2,157 (▲11.4%)	○	2,261 (九州補正) 以下	
グリーン購入 (件)	936	949	1,053	952	1,100	-	-	
事務用紙使用量 (kg)	4,084 (▲6.8%)	3,738 (▲8.4%)	3,157 (▲15.5%)	4,080 (29.2%)	4,681 (14.7%)	○	5,296 (本社以外補 正) 以下	
レンタル商品の充実 (件)	43	31	43	38	37	-	-	

※二酸化炭素排出係数は2018年度CO₂排出量算定の係数を用いています。(本社・筑波・関西=0.442エネット、九州=0.463九州電力、東北:0.523東北電力)

電力消費量は各事業所での地道な節電活動や筑波ではスリットカーテン設置、関西では蛍光灯をLED化すること等により3年ぶりに50万kWh以下となった。自動車燃料については他県への商品運搬の減少等により、対前年減となった。本社については、人員増等々により増加傾向が続いているが、可能な限り節電に取り組むこととします。

2019年度の目標値は基準年を前年度実績としましたが、エネット換算係数でのCO₂、水使用量は九州を上水道使用量に、事務用紙は本社同様全ての紙使用量に補正した目標値としています。

単年度目標と実績

評価基準 ○良くてきた ×頑張りが必要

2019年	目標 (2018)	実績	目標削減率	削減率	評価	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
CO2削減 (kg-CO2)	251,780	232,791	前年度以下	▲7.5%	○	49,636	63,382	54,343	65,430
燃料Co2 (kg-CO2)	12,674	11,175	前年度以下	▲11.8%	○	2,841	2,669	3,737	1,928
電力削減 (kWh)	529,141	490,519	前年度以下	▲7.3%	○	103,408	134,565	112,299	140,247
一般廃棄物 (kg)	22,759	21,434	前年度以下	▲5.8%	○	5,293	4,985	5,413	5,743
産業廃棄物 (kg)	31,130	22,490	前年度以下	▲27.7%	○	0	4,740	11,690	6,060
水使用量削減 (m ³)	2,261	2,157	前年度以下	▲4.5%	○	444	655	463	595
紙資源削減 (kg)	5,296	4,681	前年度以下	▲11.6%	○	1,274	1,112	1,263	1,032

※目標値を2013年度から対前年度(2018)にしたことにより、全ての項目で削減となったが、引き続き、地道な活動で環境負荷へのエネルギー削減に努めていくこととします。また、産業廃棄物については毎年、商品の入替があるので一定量の排出があるが、廃棄にあたっては適正な管理・廃棄を実施していきます。

各事業所の取組状況

評価基準 ○良くてきた ×頑張りが必要

2019年 (2018)	本社	筑波	東海	関西	九州	東北
CO2削減 (kg-CO2)	× 40,595 (39,884)	○ 78,277 (82,416)	○ 698 (1,147)	○ 58,814 (70,207)	○ 28,461 (29,243)	○ 25,946 (28,883)
水使用量 (m ³)	○ 997 (1,135)	× 464 (447)	-	× 424 (391)	○ 166 (190)	× 106 (98)
紙資源量 (kg)	○ 2,589 (2,864)	○ 604 (623)	○ 60 (112)	○ 732 (781)	○ 504 (624)	○ 192 (292)

(CO2) 本社のみ対前年増となっており、人員増等あるものの、引き続き節電意識の醸成に取り組みます。
また、各ロケでの自動車燃料については他県への物販が減少したことによる削減も含まれます。
施策工事: 筑波でのスリットカーテン新設工事、関西での蛍光灯LED化工事
(水使用量) 生活用の水道利用の他、商品機器等の洗浄作業にも利用しているが、流しっぱなし等ないよう
節水意識醸成を継続して取り組みます。筑波での給湯設備修繕あり。
(紙資源) 本社以外は購入用紙の1/2を報告していましたが、2019年度から本社同様全ての購入枚数を紙資源
として記載しています。引き続き、Web会議やタブレット端末での資料閲覧等、削減に努めます。


※電力排出係数は2018年度CO2排出量算定の係数を用いています

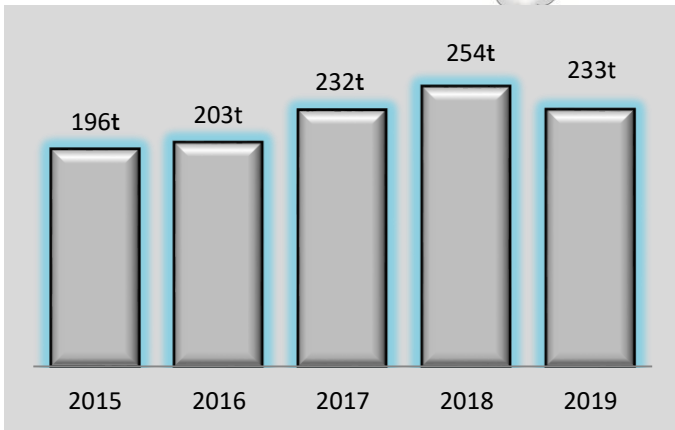
(本社・筑波・関西=0.442エネット、九州=0.463九州電力、東北:0.523東北電力)

※東海については、テナントとしてオフィスビルに入居しているため電力・水使用量等は測定不能になります。


※評価は2018年度との比較になります。

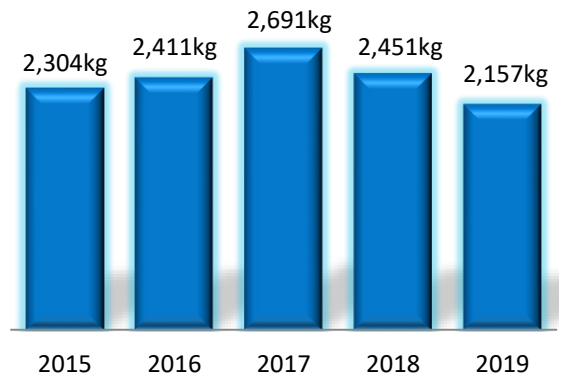
グラフで見る環境実績

二酸化炭素排出量 



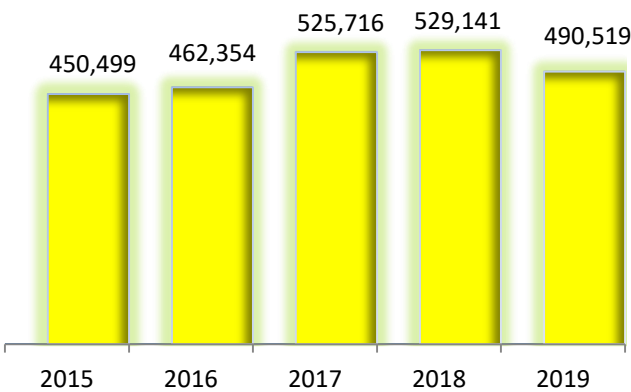
各事業所での節電活動や自動車燃料減等により毎年増加していた排出量が減少に転じました。

水使用量 



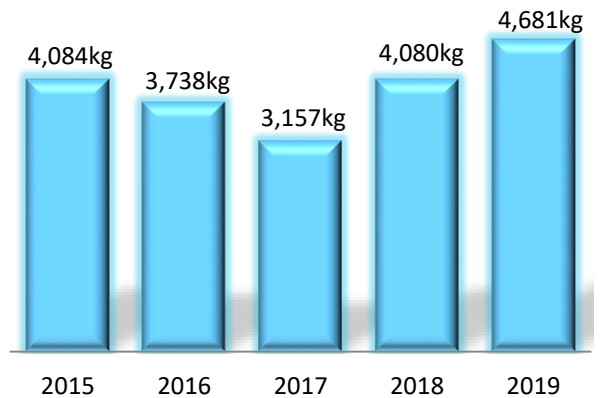
筑波ビルでの給湯設備修繕工事による増要素もあったが、地道な節水活動により目標達成。

電力使用量  kWh




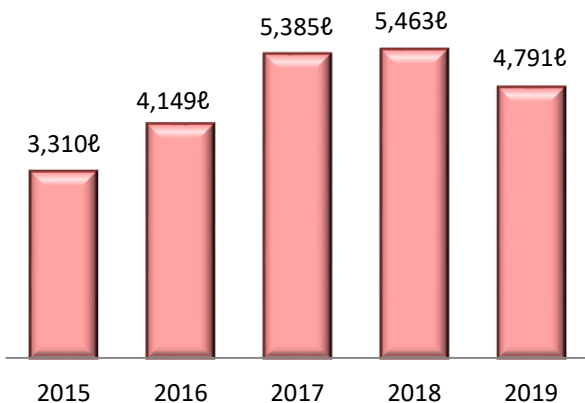
筑波ビルのスリットカーテン新設、関西ビルの蛍光灯LED化やコマメな節電活動で50万kWh以下になりました。

紙資源使用量  A4:1枚辺り4gとして換算




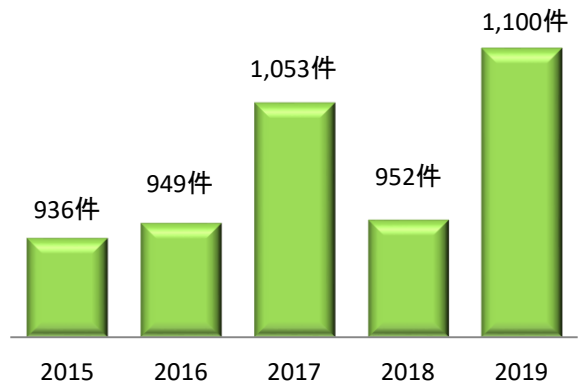
2019年度、各事業所の購入用紙を全て紙資源でして算出したため、増加。(2018補正では5296kg)

自動車燃料使用量 



他県への商材運搬や展示会等の減少により、対前年減少となった。

グリーン購入 

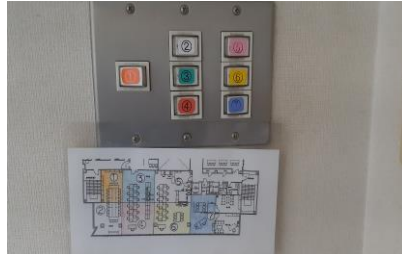
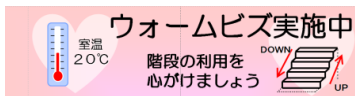


コストリダクションの観点からNTTグループ会社を利用。外部購入は環境ラベル認定品を購入するよう指示を行いグリーン購入促進を継続実施。

始めるECO活動&継続するECO活動

電力使用量削減

昼食時の照明OFF、クールビス、ハイブリットファン設置、ウォームビス、カーディガン等の着用推進、毎週水曜日の時間外自粛日設定、電力使用量の見える化等に様々な取組を行っていますが、使用量の増加となっています。引き続き意識啓発等を行い、電力使用量削減のため実施を続けます。



【筑波技術センターのスリットカーテン】

2019年2月~3月にかけて、入出庫等で扉を開放しての作業で室内温度が大きく変動するため、スリットカーテン等を設置し、冷暖房効果を高める施策を実施しました。(工事費:約111万円)

<場所:新棟 1Fの出庫室、2Fの廊下>
旧棟 1Fの検査室





廃棄物削減(リサイクル推進)

リサイクル推進・最終処分量の削減に向け、ゴミ分別の取り組みを徹底しております。リサイクルペーパーや瓶・缶・ペットボトル、及び新聞紙類は、冊子、チラシ、新聞に細かく分別しています。身近にできるリユースの取組としてマイボトル・マイカップを利用するよう促進し、使い捨て容器のゴミを削減に取り組んでいます。継続的にゴミの分別、マイボトル・マイカップ利用促進をします。



関西ビルの産業廃棄物保管場所
ダンボール保管場所



**マイボトル・マイカップの
利用促進**

マイボトル・マイカップを使うとごみが減ります。
地球温暖化防止に取り組みましょう



リユースの取り組み

自社利用廃棄用のPC・サーバの売却（45点）やリース・レンタル満了に伴う廃棄用物品の売却（26式）のを行い、産業廃棄物量の削減に取り組むとともに、廃棄用機器を研修用として利用したいとの希望があった高等教育機関（6校45点）、協力会社（1社20点）へ機器の動作確認等メンテナンスを行い提供しています。今後も継続してリユースに取り組んでいきます。

<売却物品の一例>

鍵収納管理装置（約75kg）



車両管理システム（約105kg）



車両管理システム（約80kg）



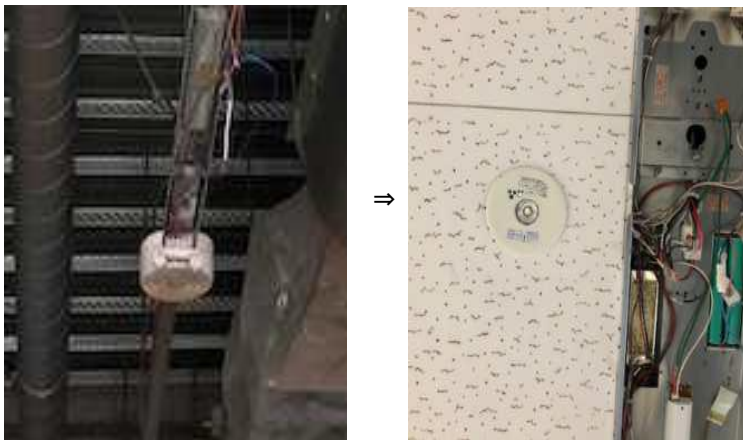
照明器具のLED化（関西ビル）

2019年3月～2020年2月にかけて、関西ビルの照明器具のLED化を行い、配線変更等工事費含め約376万円の費用がかかりましたが、平均照度はUPして消費電力はDOWN（約64%：業者参考数値）でエコ化を推進しました。具体的には2019年3月には1・2階の蛍光灯を620本LEDに交換、非常灯35箇所LEDを設置しました。2019年4月にはLED関西ビル1F出庫エリアフ吹き抜け部分壁面の照明器具落下防止措置を行うとともに、2020年2月には3階の蛍光灯を124本LEDに交換しました。

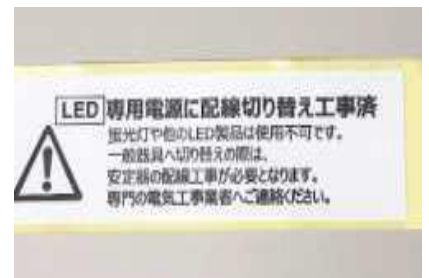
【直管蛍光管からLED蛍光管への交換工事】



【非常灯をLED非常灯への設置工事】



※LED工事した器具には下記のシールを貼付つけてあります。

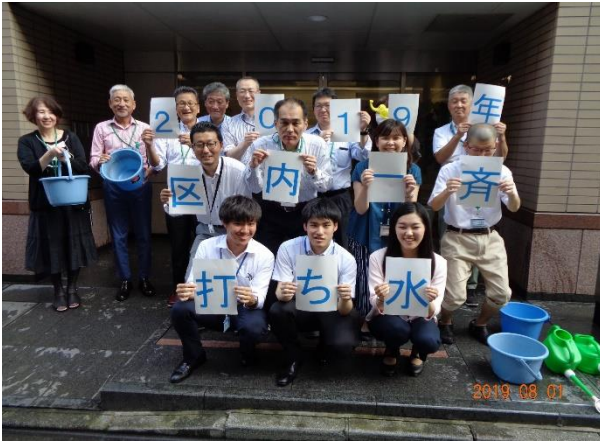


【3階LED工事後】



地域社会貢献

環境意識や節電意識の醸成の一環として、千代田区も毎年、同様の主旨に基づき、ヒートアイランド対策である「打ち水」を実施しており、当社も、千代田区と一体となり、8月1日に区内一斉「打ち水」に参加しました。



屋上緑化 (じゃがいも)

今年もRECビル屋上で「じゃがいも」を育て収穫しました。収穫したじゃがいもは行きつけの中華料理さんで、塩ゆでや調理して頂きました。コンタクトセンタの皆さん、ごちそうさまでした。来年もよろしくお祈りします。



廃棄物優良事業所 認定

大野城市より「ごみ減量・リサイクル」における優良事業所として、令和2年4月1日から令和4年3月31日まで認定されました。引き続き「環境意識が高い事業所」として認定頂けるように、エコ活動を推進していきます。
(九州)



消防避難訓練

2011年の東日本大震災以降、自然災害や火災を想定し、不測の事態となった場合でも迅速な対応ができるよう、毎年、訓練を行っております。

今年は、1月期に本社（テナントビルの方々も参加）では避難訓練を行いました。

消防署立会のもと、初期消火・避難誘導・通報班の役割に沿って、通報・消火・AED訓練を実施しました。（各営業所・センタにおいても同様に消防避難訓練を実施しています）



水使用量削減

水使用量については、生活用水がほとんどを締めております。

給湯室等へ節水ポスター・ステッカーを貼り水削減喚起を継続して行っています。

今年度の水使用量は対前年削減となりました。継続して無駄をなくす意識を持って積極的に取り組んでいきます。





レンタル商品の充実（新商品化）

毎年、レンタル機器の保守満了時期やお客様からの新商品化要望・需要予測を行い、レンタル商品の充実を行っています。

2019年度は下記の工事用品及び測定機器等を新商品化してお客様に提供しております。

種別	2019年度 商品化数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1：光ファイバ接続器			3		5	1					3	1	13
2：光測定機器		5	1							1			7
3：光ケーブル工事機器									1				1
4：メタル関連機器	1			1								1	3
5：イーサネット測定機器		3		1							1		5
6：無線測定機器			2							1			3
7：電力・クリーンエネルギー測定機器	1								1	1			3
8：構造物関連機器		1						1					2
9：環境測定機器													
合計	2	9	6	2	5	1	0	1	2	3	4	2	37

環境関連法規への違反、訴訟の有無

当社に適用される主な法規は以下のとおりであり、これら環境関連法規への違反の指摘、訴訟等は、過去3年間ありません。

環境法令遵守評価結果表

法令名称	適用遵守事項	条項	確認内容	点検確認
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	エコドライブの推進	4条	打ち水など環境活動に参加していますか。	○
			電気量の削減に取り組んでいますか	○
茨城県生活環境の保全等に関する条例	アイドリングストップの推進	105条	ドライブドクターを車両に設置していますか	○
	エコドライブの推進		エコドライブ実践を周知していますか	○
	公共機関利用の促進		クリーン活動は実践していますか	○
愛知県の生活環境の保全条例	公共交通機関の利用促進	76条	移動には公共交通機関を利用するよう周知しましたか	○
	自動車運転時の排出ガス及び騒音の抑制		クリーン活動は実践していますか	○
名古屋市環境保全条例	自動車運転時の排出ガスの抑制	109条	ドライブドクターを設置し、エコドライブ実践を周知していますか	○
	アイドリングストップの推進	110条		
大阪府環境基本条例	豊かな環境の保全及び創造に関する施策の実施	5条	環境クリーン活動は実施していますか。	○
生活環境の保全に関する条例	自動車NOx・PM法の排ガス基準の順守		ドライブドクターを設置し、エコドライブ実践を周知していますか	○
福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例	アイドリングストップなどのエコドライブの推進	38条	ドライブドクターを設置していますか	○
			エコドライブ実践を周知していますか	○
宮城県環境基本条例	アイドリングストップ推進 エコドライブの推進	6条	ドライブドクターを設置していますか	○
			エコドライブ実践を周知していますか	○
名取市環境美化の促進に関する条例	環境美化の促進について被用者の啓発	3条	環境クリーン活動は実施していますか	○



環境法令遵守評価結果表

法令名称	適用順守事項	条項	確認内容	点検確認
フロン排出抑制法	定期点検	16条	点検記録はありますか	○
廃棄物処理法	分別の徹底 一般廃棄物の適正な廃棄処理 の委託 産業廃棄物の管理及び届出	6条	分別は実施していますか	○
			別のゴミは混じていませんか	○
		12条	産業廃棄物掲示版を設置して適正に 保管していますか。 産業廃棄物管理票（マニフェスト）は保管 していますか。 産業廃棄物管理表交付等状況報告書を 都道府県知事に報告していますか。	○
土浦市環境基本条例	廃棄物の適正処理	5条	マニフェストの保管はしてありますか	○
			県知事への報告資料は保管していますか	○
リサイクル法	パソコンの長期使用、再生部 品等の使用	5条	パソコンの廃棄はありましたか パソコンの廃棄があった場合、適正に 処理されていますか。	○
家電リサイクル法	特定家電製品廃棄時の処理費 用負担	6条	特定家電製品の廃棄はありましたか。 特定家電製品の廃棄があった場合、 適正に処理されていますか	-
自動車リサイクル法	廃車時の処理費用負担	73条	自動車の廃棄はありましたか。 自動車の廃棄があった場合、適正に処理 していますか	-
グリーン購入法	環境物品等の選択購入義務	5条	コピー紙は、エコマーク品を購入して いますか	○
労働安全衛生法	労働安全法遵守	3条	健康診断は全社員実施していますか	○
			安全衛生委員会の議事録を周知して いますか	○
			衛生管理者は届出していますか	○
消防法	消防用設備等点検と届出	8条	消防設備の点検は実施していますか	○
	防火管理者届出		防火管理者は届出していますか	○
			緊急連絡訓練は実施していますか	○



代表者による全体の評価と見直しの結果

NTT東日本グループの一員として、NTTグループCSRテーマの一つである「人と地球のコミュニケーション」の重点活動項目である「低炭素社会の実現」「循環型社会の形成」「生物多様性の保全」について取り組むべく、平成24年3月にエコアクション21の認証を取得し、活動を推進してまいりました。

(2018年度結果に基づく見直し)

2019年度においては、各環境負荷燃料等の算定方法を統一するとともに、各事業所での取り組み等を拾い上げ、社員一人一人が環境負荷低減に取り組めるよう意識醸成を図りました。また、エコアクション事務局と各営業所推進責任者等との役割を明確にするとともに、各事業所の数値も見える化を行い、活動の推進・更なる浸透を図りました。

(全体評価)

2019年度は、上記の取り組みに加え、筑波技術センターではスリットカーテン等を設置して冷暖房効果を高める工事や関西ビルでは蛍光灯LED化工事を行うことによる消費電力削減施策を実施するとともに、自社で利用していたパソコンやタブレット・サーバ等の売却やリース商品満了機器やレンタル商品廃棄機器を売却するとともに、高等教育機関からの要望に応え、希望する廃棄予定機器の動作確認等のメンテナンスを行い、学習用教材の提供を行いました。

また、2020年からのコロナウエルス感染拡大により、沖縄での展示会中止や各種営業活動に影響がでましたが、社員が更に環境負荷低減を意識し、エコ人材として事業活動等を通じ、一人ひとりが持続可能な社会の実現に向け貢献していくとの観点での「エコ検定」の取得を重点施策として奨励し、取得者拡大に取り組みました。

全体として、2013年度に設定した目標値から対前年実績以下としたこと等により、全ての項目が減少となりましたが、引き続き環境負荷数値が減少となるよう取り組んでいきます。

(今後の主な取り組み)

「低炭素社会の実現」に向けた取り組み

- (1) 電気使用量削減については、夏場の節電対策を含め、各種節電対策を継続実施していく。
- (2) ガソリン使用量削減については、今後も、エコドライブの徹底など、社員のエコ運転意識の高揚に努める。

「循環型社会の形成」

- (1) リサイクルは、今後もきめ細かな分別化を徹底し、3R活動（リデュース、リユース、リサイクル）及びグリーン購入の推進に積極的に取り組んでいく。
- (2) 事務用紙の削減に向け、両面・集約印刷の励行及び会議のペーパーレス化に向けたWeb会議の活用の拡大に取り組む。

「生物多様性の保全」

「ビル周辺清掃活動」を継続的に実施し、地域社会の一員として持続可能な社会づくりに貢献する。

**REC
VALUE**

現場を知るプロの、先読みレンタル。